教科書 p.68～69

年	組	番
名前		

探究力 UP ワークシート

③ 火災に強いまちづくりには何が必要か？

■資料読解の問い

糸魚川市の火災を拡大させた要因は何だろうか？

STEP 1　既習事項の確認〔知識・技能〕

1　日本で起こりうる気象災害には、どのようなものがあるのか、教科書 p.65 を参考に書き出そう。

2　火災が延焼・拡大する可能性が高まると考えられるのは、どのような気象条件下なのか、説明しよう。

STEP 2　資料の読解〔思考・判断・表現〕

1　新潟県糸魚川市と新潟県上越市(高田)の位置を地図帳で調べ、市街地と山地の位置関係を確認しよう。。

2　糸魚川市の市街地では、教科書 p.68 写真 1 のような大規模な火災が 2016 年 12 月 22 日午前 10 時過ぎに発生した。その時の気象条件を教科書 p.68 図 2 ～ 4 から読み取り、火災が拡大した理由を、次の語句を用いて説明しよう。

【　低気圧　強風　フェーン現象　】

■国土像探究に向けて

地震による火災の拡大を防ぐための対策を探究しよう。

STEP 3　自身で探究〔思考・判断・表現〕

1　関東地震（関東大震災）で火災がどのように広がったのか、教科書 p.69 図 6・7 を参考に気象の面から説明しよう。また、火災の拡大は、住宅や道路などのつくりとも関係している。どうすれば火災の拡大を食い止めることができたのか、教科書に掲載されている資料やインターネットなどを用いて調べよう。

2　あなたが暮らす都道府県の大きな都市で地震が起こり、火災が発生した場合、火災が拡大する要因と延焼を食い止める要因を、教科書 p.69 図 11 のように整理しよう。また、火災に強いまちづくりに必要なことを考えよう。

	火災が拡大する要因	延焼を食い止める要因
自然的要因 （地震発生時の時刻や季節による影響も考える）		
都市構造の要因 （住宅や道路などのつくり など）		
火災に強い まちづくり に必要なこと		

STEP 4　協働・まとめ〔主体的に学習に取り組む態度〕

1　グループになり、STEP 3 で探究したことを発表しよう。また、あなた自身ができることには、どのようなことがあるのか議論し、ほかの人の意見を聞いて、新たな視点やさらに調べてみたいことなどを書き出そう。

【新たな視点】 **【さらに調べてみたいこと】** **【そのほか】**

振り返り

1　ここまでの学習を振り返って、以下の項目について自己評価をしよう。十分に達成できた項目には◎を、一部は到達できた項目には○を、到達には努力が必要な項目には△を、それぞれつけよう。

糸魚川市の火災を拡大させた要因について、理解できた。	
関東地震で火災が広まった要因について、住宅や道路などの つくり や気象なども踏まえてまとめられた。	
あなたが暮らす都道府県の大きな都市で地震が起こり火災が発生した場合に想定される、火災が拡大する要因や延焼を食い止める要因のほか、火災に強い まちづくり について考え、ほかの人と議論できた。	